広報とうや湖
発行日　平成29年2月10日
通巻／第131号

地域おこし協力隊が出会った素敵な人紹介

洞爺湖町 地域おこし協力隊

Cafe COKOU 湖光をオープン
高橋喜久さん・真希子さん（香川）

財田キャンプ場内にある施設を、昨年4月から「Cafe COKOU 湖光」としてオープンした高橋夫妻。調理師免許を持つ真希子さんがお店を切り盛りし、キャンプ場の施設管理を行っている喜久さんと、息子さんが真希子さんをサポートします。

生まれも育ちも札幌の二人は、昔から「子どもが大きくなったら、都会ではなく静かなところで生活したい」という想いを持っていました。

移住のきっかけは、喜久さんが一緒によく洞爺湖へカヌーをしに来ていた会社の上司から家を紹介されたことでした。すぐにその家を気に入り、移住を決意し、一昨年4月から香川での親子3人の生活が始まりました。

夜になると足下さえ見えない真っ暗闇の中で数え切れないほどの星を見たり、侵入してくる虫に四苦八苦したり、札幌とは異なる環境を楽しみ、「周りの方々の助けがあって今の生活がある。今となっては洞爺湖以外で暮らすことは考えられない」と思うほどになりました。

また、喜久さんは、楽しいことを「考える」だけでなく、実際に「やってみよう」と香川作戦室を立ち上げ、いろいろな企画を実践しています。

一昨年12月には、財田キャンプ場がクローズする冬の期間を利用してジャズライブを開催。第2弾として、先月には洞爺湖町出身のギタリスト志藤奨さんのライブを開催しました。

「今後は、カフェスペースを地元の方の演奏練習や発表の場としても活用し、ゆくゆくは自分も演奏側にも回ってみたい」と話し、真希子さんは「音楽だけでなく、ヨガもやってみたい」と二人の夢は膨らみます。

楽しいことしたい人、「Cafe COKOU 湖光」に集まれ！

（渡邊紀子）

今月のワンショット

地場産品のホタテが入ったカレーの給食をたいらげる虻田小学校の児童たち

東奔西走

今年も、年明けの大きなイベント成人式が行われました。

着飾った新成人らは、旧友や恩師との再会に話も弾み、楽しいひとときを過ごしていました。

新成人一人ひとりを見ていると、彼らの3倍ほどの年齢になり、あっという間のように感じていた自分の人生が、「結構長く生きてきたなぁ」と改めて実感させられます。人生は、はたして長いものなのか、短いものなのか？…。（H.O）

人口と世帯の動き12月31日現在(先月比)

男……4,270人（△4）
女……4,924人（±0）
計……9,194人（△4）
世帯……4,979世帯（△3）

■編集・発行／洞爺湖町総務部企画防災課広報　統計グループ　〒049-5692 洞爺湖町栄町58番地
☎0142-74-3004 FAX0142-74-2121 ホームページアドレスhttp://www.town.toyako.hokkaido.jp/ ■印刷　トーヤ印刷